

# 兵庫県 の 地震 活動

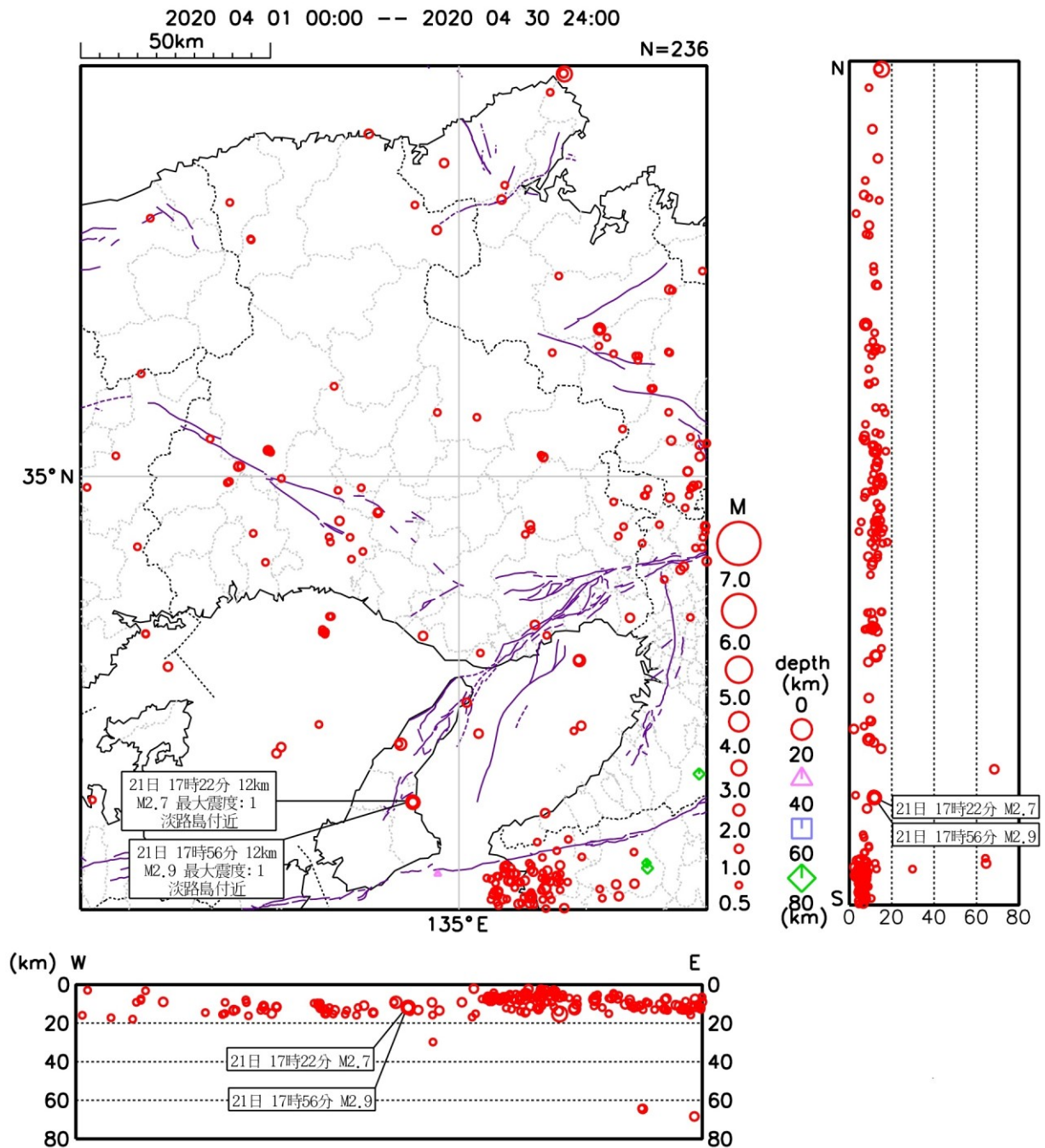
2020 年（令和 2 年） 4 月

震央分布図・断面図	1
概況	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	3
一口メモ	
SNS を活用した防災情報発信の強化	4

- \* 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- \* この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- \* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- \* また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

# 震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図  
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

## 概 況

— 4月の概況 —

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を2回観測しました。

21日17時22分 淡路島付近※の地震（深さ12km、M2.7）により、洲本市、南あわじ市で震度1を  
観測しました。

21日17時56分 淡路島付近※の地震（深さ12km、M2.9）により、洲本市、南あわじ市で震度1を  
観測しました。

※ 気象庁はこれらの地震に対して、震央地名「大阪湾」で情報発表しました。

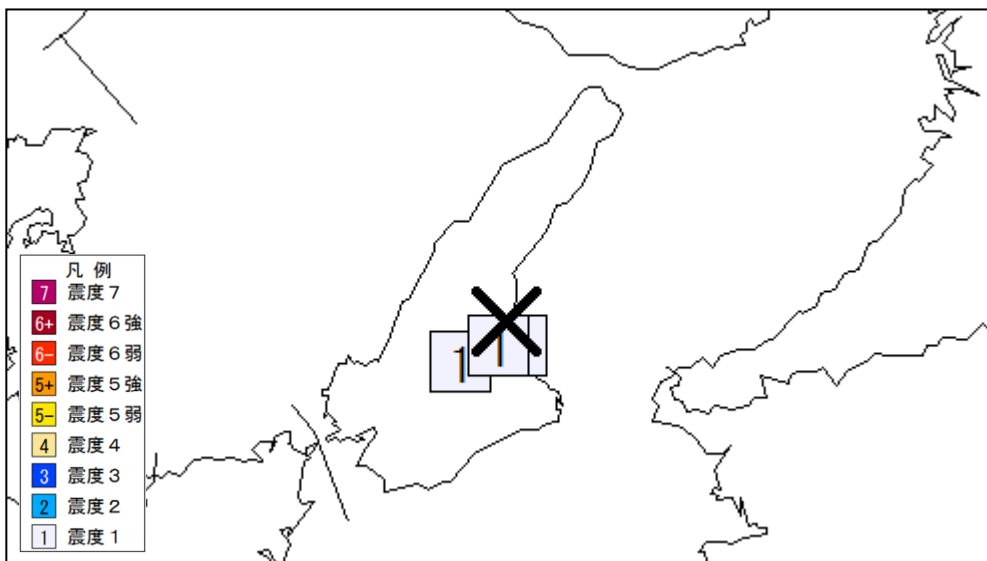
## 兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時 震度（兵庫県内）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	全国最大震度
2020/04/21 17:22	淡路島付近	34° 21.7' N	134° 53.4' E	12km	M2.7	震度1
震度1：洲本市物部, 洲本市山手*, 南あわじ市広田*						
2020/04/21 17:56	淡路島付近	34° 21.7' N	134° 53.4' E	12km	M2.9	震度1
震度1：洲本市物部, 洲本市山手*, 南あわじ市広田*						

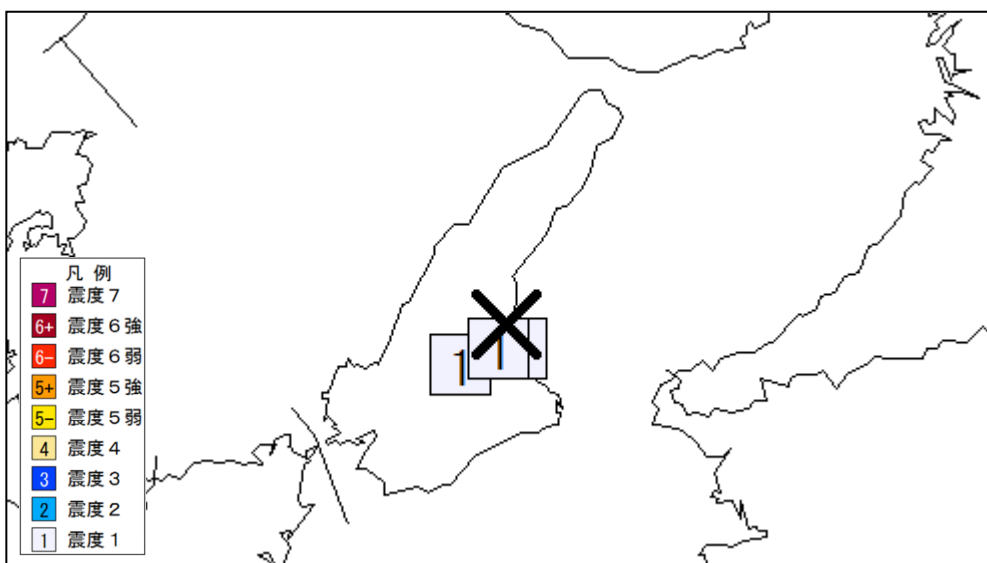
震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。  
なお、\*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

## 兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

4月21日17時22分に発生した、淡路島付近の地震による震度分布図（観測点震度）×印は震央を表す



4月21日17時56分に発生した、淡路島付近の地震による震度分布図（観測点震度）×印は震央を表す



## 一口メモ

# SNS を活用した防災情報発信の強化

「自らの命は自らが守る」という意識の発揚や、地域の災害リスクととるべき避難行動などの理解促進のため、3月からYouTube及びTikTokの活用を開始しました。昨年10月に開設されたTwitterアカウントも含め、紹介します。

### 【 YouTube による緊急記者会見の生中継 】

気象庁では、大雨が予測される場合や大きな地震が発生した場合などに、防災上で留意いただきたい内容や気象庁が持つ危機感を皆様にお伝えするために緊急記者会見を開催しています。この会見は、主にマスメディアを通じてお届けしているところですが、一人でも多くの方に緊急記者会見をご覧いただくため、YouTube（注1）を利用したライブ中継を開始しました。

緊急記者会見は、自然災害に対して気象庁が持つ危機感を住民の皆様へ直接伝達し、避難の必要性について判断いただく貴重な機会です。従来のテレビ等に加え、気象庁自ら YouTube による緊急記者会見の生中継を行うことで、より多くの皆様に気象庁の危機感が伝わり、防災行動へと繋がることを期待されます。

（注1）Google LLC 社が提供する動画共有サービス。

気象庁公式 YouTube チャンネル URL

<https://www.youtube.com/channel/UCajQ4ZQJrgwSxkF6xaCfrRw>



### 【 TikTok との連携による防災知識の普及啓発 】

災害発生時などに防災気象情報を活用いただくためには、平常時に、住民の皆様へ防災気象情報への理解を深めていただくことが重要です。気象庁では、新たな理解・促進策として、防災特設ページを新設する TikTok（注2）と連携し、今年3月から防災気象情報の普及啓発コンテンツの配信を開始しました。

いざと言う時に、防災気象情報により住民の皆様へ防災行動をとっていただくには、平時から防災気象情報についての理解を深めていただき、「自らの命は自らが守る」という意識を持っていただくことが重要です。若者層を含む幅広い世代に人気があり、情報が拡散しやすい特性を持つ TikTok との連携により、裾野の広い防災知識の普及啓発が可能となります。

（注2）ByteDance 社が提供するモバイル向けショートムービープラットフォーム。



### 【 防災情報専用の Twitter アカウント 】

気象庁では、顕著な災害の発生が予想される、あるいは既に発生している緊急時等において、気象庁がもつ危機感をより効果的に発信し、避難や復旧活動等に役立ていただくため、気象庁防災情報 Twitter アカウント (@JMA\_bousai) を開設しています。台風の接近等による大雨や、地震、火山噴火の発生等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している場合に、現況や今後の見通し、防災上の留意事項、緊急記者会見の内容等、広く国民の皆さんに情報発信しています。